

令和4年度までの事業報告・令和5年事業予定

地区防災計画の推進

地区防災計画の策定を推進するため、希望のあった自治会、自主防災会へ年間スケジュールの提案や計画（案）の作成及び説明会やワークショップ等を行い、13地区の地区防災計画策定につながりました。

また、制度自体の啓発を図るため、地区防災計画セミナーを2回開催し、専門家による講演や地域代表者（2地区）から地区で取組む活動事例の発表を行いました。

令和5年度も委託業務による地区防災計画の策定支援を引き続き行います。地区防災計画策定の取り組みを希望する地区は、年間スケジュールの提案やワークショップの開催支援、地区防災計画（案）の作成等の支援を受けることができます。



地域の防災活動推進

地域の防災活動推進27回の地域訓練のうち、防災安全課に要請があった16回の訓練に参加し、防災活動の推進を行いました。今後も、防災活動推進に取り組みます。

想定最大規模の洪水防災情報マップの作成

市民へ洪水の啓発を図るため、兵庫県が指定・公表した想定最大規模の洪水浸水想定区域図に基づき、防災情報マップを作成し、令和3年6月に全戸へ配布しました。

防災情報マップ解説動画の制作・公開

防災情報マップのより一層の活用及び周知を図るため、子どもから高齢者まで分かりやすくマップの見方や活用方法が分かる動画を制作し、令和4年1月にYouTubeで公開しました。（希望者にはDVDでの貸出も有）。（参考）令和5年3月時点の再生回数：2540回



あしや防災ガイドブックの改訂

市民の防災意識啓発を図るため、平成29年度に改訂した防災ガイドブックを新たな情報や知識、啓発を反映した上で更新し、令和4年3月に全戸へ配布しました。

緊急告知ラジオ販売促進

市民の防災情報収集ツールの拡充を図るため、要援護者台帳登録者3038人のうち、ラジオ未購入者2297名の方にダイレクトメールを送信し、令和4年3月25日から令和4年8月31日までの間で525台を販売しました。

山手中学校耐震性貯水槽の設置

災害発生時の飲料水確保のため、山手中学校に耐震性貯水槽（60m³）1基を設置する工事が令和4年3月末に完了しました。これにより、市内の耐震性貯水槽は11基となり、災害時に必要としている1人1日あたり3リットルの飲料水を確保できるようになりました。11基の耐震性貯水槽により、約11万3千人の方に3日分の飲料水を供給することが可能です。



災害時等におけるレンタル資機材の提供に関する協定の締結について

西尾レントオール株式会社との災害時応援協定を令和4年5月16日付で締結しました。本協定締結により、災害時等に仮設トイレなどのレンタル資機材を提供頂き、迅速な被災者の救援や被災地域の復旧活動支援を推進します。

災害時等における廃棄物処理の応援に関する協定の締結について

兵庫県環境事業商工組合との災害時応援協定を令和5年4月27日付で締結しました。本協定締結により、災害時にし尿等の災害廃棄物処理について支援頂き、市民の生活環境の確保や公共用水域等の水質保全を推進します。

災害時応援協定の締結推進

令和5年度は、下記団体と協定締結にむけて協議を進めるとともに、災害時の体制強化のため、新たな災害協定の締結先を検討します。

団体	主な協定内容
株式会社ゼンリン	災害時における地図製品等の供給

感染症対策を踏まえた避難所開設マニュアルの推進

令和2年度に作成した「感染症に対応した避難所開設運営マニュアル」を基に、避難所開設の優先度の高い学校園及び自主避難所を対象として協議し、避難所ごとのゾーニングの作成支援や感染症対策物品を配置しました。

また、避難所管理班や学校管理班等を対象に、避難所開設研修を令和4年6月に開催し、前提となる知識や感染症対応の基礎、避難所アプリの導入、会場を避難所に見立てた開設シミュレーションの実働までを行いました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後の避難所開設運営方法を検討します。



関係機関との防災パトロール

令和4年6月に六甲治山事務所との「豊かな村を災害から守る月間防災パトロール」、7月に西宮土木事務所、芦屋警察署、芦屋市消防本部等との「急傾斜地危険箇所パトロール」を実施し、土砂災害警戒区域等で危険な箇所がないか確認し、情報共有を行いました。

令和5年度は、6月頃に関係機関の方とパトロールを実施予定です。



防災総合訓練

令和4年11月20日（日）に地震・津波をテーマとした市主催の防災総合訓練を実施しました。

若い世代の参加を促すため、日常と非日常を切り離さない「フェーズフリー」をコンセプトに全世代を対象とした体験・体感コンテンツを多数導入し、その結果、1010人の方が参加されました。

また、防災啓発においては、関係機関・団体等の連携・協力の下、市民の自助部分を強化した防災意識の向上を図ることができました。



令和5年度の防災総合訓練は、土砂災害をテーマに防災関係機関との連携強化及び市民の防災意識向上を図る訓練の実施を予定しています。

津波発生時等における一時避難施設としての使用に関する協定の締結について

クレリ芦屋ホール（浜芦屋町）と津波発生時等における一時避難施設としての使用に関する協定を令和5年11月28日付で締結しました。本協定締結により、津波、高潮、洪水のおそれがある場合、当該施設に約300名の方が避難可能となりました。



福祉避難施設の訓練・運営マニュアルの作成

福祉センター、福祉部署、防災安全課、社会福祉協議会で福祉避難所開設・運営訓練、災害ボランティアセンター開設訓練を令和4年12月に実施し、発災時の施設の開錠、避難者の受入れ、資機材の準備等の流れを関係部署で確認しました。この訓練結果を踏まえ芦屋市福祉避難所開設・運営マニュアルを作成していきます。



防災・減災に向けた支援活動にかかる支援物資の贈呈式について

兵庫六甲農業協同組合、全国共済農業協同組合連合会兵庫県本部から地域の防災、減災活動の支援として兵庫県産コシヒカリを寄附頂き、贈呈式を令和5年3月9日に開催しました。寄附されたお米は備蓄食の啓発及び食育のため、保育所、防災訓練等で配布予定です。



被災者再建支援システムの導入について

災害時にシステム上で被災者台帳の管理、建物被害認定調査等の業務が可能な「被災者生活再建支援システム」の構築が令和5年3月末に完了しました。

本システム導入により、大規模災害発生時に「建物の被害認定調査」、「罹災証明書の発行」、「被災者台帳の管理」等がシステム上で一括管理されることで、被災者の生活再建に必要な業務が効率化されます。

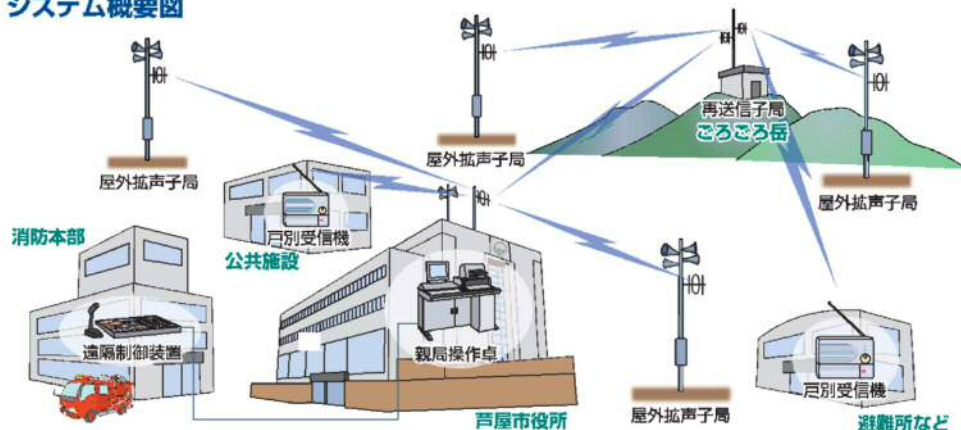
防災行政無線補助局設置

既存の防災行政無線の親局が事故や故障により使用不可能となった場合に備え、マイクを通じて市内の防災行政無線子局へ放送する為のバックアップ用の補助局の整備が令和5年3月末に完了しました。これにより、市民へ確実に災害情報や避難情報を伝達する体制が整いました。

防災行政無線システム更新

現在の防災行政無線システムは、平成22年4月から運用を開始しており、設置後12年が経過しています。令和5年度は大規模災害時等における情報収集・伝達手段の確保のための更新工事に向けて、実施設計業務に取り組んで参ります。

システム概要図



防災倉庫紹介動画の制作・公開

防災倉庫の使用方法やその重要性を市民に発信し、防災倉庫を自ら活用する意識を持ってもらうため、防災倉庫の鍵の開け方や資機材の取り扱い等、子どもから高齢者まで直感的に防災倉庫の重要性を理解しやすい動画を令和5年3月末に制作完了予定です。

この紹介動画は、令和5年度に YouTube で公開予定です。



特設公衆電話（災害時用公衆電話）の設置について

NTT 西日本の協力により、災害時に避難所で被災者が利用する特設公衆電話の設置を進めています。令和5年度には、保健福祉センター及び精道中学校への設置を予定しています。これにより、市内の特設公衆電話は計27箇所、48回線となります。

今後も、特設公衆電話未配備の避難所への設置を検討していきます。

防災士養成講座の開催

市職員の防災士資格取得と消防団や一般市民の防災育成を目的とした市主催の防災士養成講座を令和5年10月・11月に実施予定です。

急傾斜地崩壊防止対策事業（兵庫県実施事業）

土砂災害特別警戒区域等の対策では、兵庫県が施工する急傾斜地崩壊防止工事について、奥池地区及び奥池南地区にて下記のとおり事業が進められています。

- ・奥池町Ⅰ地区（A区間） 令和5～6年度【工事予定】
- ・奥池町Ⅰ地区（B区間） 令和3～4年度【工事完了】
- ・奥池町Ⅰ地区（C区間） 令和4～5年度【工事着手済】
- ・奥池町Ⅱ地区 令和3～4年度【工事完了】
- ・奥池南地区 令和4年12月 地域住民説明会
令和5年度 設計業務実施予定



朝日ヶ丘R区域指定解除箇所

芦屋市朝日ヶ丘町において、兵庫県による急傾斜地崩壊防止対策工事の実施により、土砂災害特別警戒区域（R区域）の指定の事由がなくなったため、令和4年11月29日付で区域指定が解除されました。

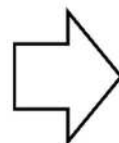
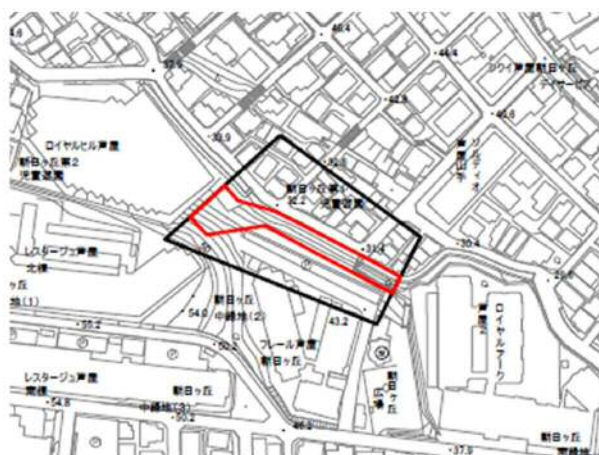
※土砂災害警戒区域（Y区域）は地形条件によって指定されているため継続します。

指定日：平成29年12月26日

兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町
（土砂災害特別警戒区域 急傾斜地の崩壊）
告示第1126号（指定）

解除日：令和4年11月29日

兵庫県芦屋市朝日ヶ丘町
（土砂災害特別警戒区域 急傾斜地の崩壊）
告示第1411号（解除）



平成30年台風第21号に伴う護岸対策工事（兵庫県実施事業）

兵庫県が高潮対策として南芦屋浜地区の防潮堤の嵩上げ工事を下記進捗状況のとおり進めています。

令和5年度は、芦屋浜地区の防潮堤の嵩上げ工事が実施される予定です。また、工事前には兵庫県が地域住民へ説明会を実施し、工事内容の周知及び施工調整を行います。

進捗状況



- : ビーチ護岸 開放済
- : 南護岸 一部開放協議中
(中壁より海側)
- : 東護岸(南) 試験開放中
- : マリーナ護岸 令和5年10月開放予定
- : 東護岸(北) 令和5年10月開放予定
- : 北護岸(東) 開放済
- : 北護岸(西) 令和5年6月開放予定
- : 西護岸 令和5年8月開放予定

